

平成 30 年度 第 5 回竹島問題を考える講座

演 題 「竹島問題と韓国の歴史認識問題 — 韓国の竹島教育の現状とその問題点 —

1952 年 1 月 18 日、韓国の李承晩大統領（当時）が公海上に一方的に引いた「李承晩ライン」を宣言して以来、「竹島」は日韓の係争の地となった。それから半世紀以上が過ぎた今日、解決のめどは立っていない。

歴史的に韓国領でなかった竹島が「民族の自尊心」や「独立の象徴」となるのはなぜだろう。そこには、日本とは違う韓国社会がある。慰安婦問題や徴用工問題、日本海呼称問題も同じ現象である。この韓国に対して、日本はどのように対処したらよいのだろうか。

今回の「竹島問題を考える講座」では、竹島問題をめぐる韓国の教育の現状とその問題点について理解を深めていきたいと思えます。

講師 しも じょう まさ お
下 條 正 男 氏

拓殖大学国際学部国際学科教授・竹島問題研究会座長

日時 平成 31 年 1 月 14 日 [月] 午後 2 時～3 時 30 分
場所 島根県竹島資料室 研修室（松江市殿町 1 番地 竹島資料室併設）
主催 島根県総務部総務課
定員 60 名（受講料無料）

【講師紹介】

1950 年長野県生まれ。國學院大學大学院博士課程修了。1983 年韓国三星綜合研修院主任講師、市立仁川大学校客員教授を経て、98 年帰国。翌年拓殖大学国際開発研究所教授、2000 年同大学国際開発学部アジア太平洋学科教授に就任、現在に至る。

専攻は日本史。第 1～第 4 期島根県竹島問題研究会座長。

著書に『日韓・歴史克服への道』（展転社）、『竹島は日韓どちらのものか』（文春新書）他



【お申し込み方法】 ※申込期限平成 31 年 1 月 13 日（日）

下記申込書を「竹島資料室」宛に、郵送または FAX でお送りください。

電子メールの場合は「第 5 回竹島問題を考える講座申し込み」と明記の上、名前と電話番号を送信ください。

【申し込み先・問い合わせ先】

島根県総務部総務課 竹島資料室 〒690-8501 松江市殿町 1 番地 県庁舎第 3 分庁舎

[TEL] 0852-22-5669 [FAX] 0852-22-6239 [E-mail] takeshima-shiry@pref.shimane.lg.jp

[Web 竹島問題研究所 HP] <https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/pref/takeshima/web-takeshima/>

キトリ

平成 30 年度 第 5 回「竹島問題を考える講座」申込書

(ふりがな) 名 前		
電話番号		
次回講座案内 (どちらかに○)	不要・要	<送付先> 〒

※提供していただいた個人情報につきましては、考える講座開催のみに利用します。